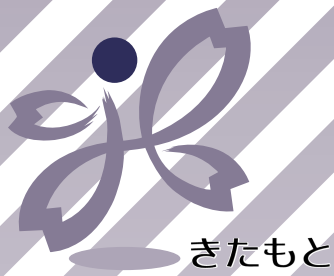


こんにちは



議会です!

きたもと議会だより



北本の行事シリーズ

第3回菜の花まつり

4月3日と4日の2日間、高尾7丁目地内において「菜の花まつり」が開催されました。

(主催：北本市景観作物振興会)

正副議長就任あいさつ

私たちは、このたびの第1回定例会におきまして、議員各位からのご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

今後とも、市民の皆様により身近で、より信頼される議会を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



左から加藤勝明議長、中山敬弘副議長

主な内容

- 3月定例会・・・
- 一般質問・・・
- 委員長報告・・・
- 提出案件の結果等・・・

会期日程

- 2月23日(火)本会議(開会)
- 2月24日(水)議案調査日
- 2月25日(木)議案調査日
- 2月26日(金)議案調査日
- 3月2日(火)本会議(総括質疑)
- 3月3日(水)本会議(委員会付託)
- 3月4日(木)委員会(総務文教・保健福祉)
- 3月5日(金)委員会(建設経済)
- 3月8日(月)委員会(総務文教・保健福祉)
- 3月9日(火)委員会(建設経済)
- 3月11日(木)本会議(一般質問)
- 3月12日(金)本会議(一般質問)
- 3月15日(月)委員会(建設経済)
- 3月16日(火)本会議(一般質問)
- 3月17日(水)本会議(一般質問)
- 3月18日(木)委員会(建設経済)
- 3月19日(金)本会議(閉会)

No 72

平成22年(2010)5月1日発行

編集 議会だより編集委員会

発行 北本市議会

北本市本町1-111

TEL 048-591-1111

FAX 048-591-6335

www.city.kitamoto.saitama.jp

3月定例会

平成22年度

一般会計予算を原案可決 7 特別会計予算を原案可決

一般会計予算は180億円、前年度比95%の増

2月23日から3月19日までの25日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案32件、議員提出議案7件、委員会提出議案1件、請願4件を慎重に審議しました。
特に、平成22年度北本市一般会計予算については、記名投票の結果(下記参照)、原案のとおり可決しました。
また、小中学校校舎の耐震補強及び大規模改修等に係る補正予算については挙手全員により可決しました。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第1号 平成22年度北本市一般会計予算について

「総括質疑より」

Q 平成22年度予算の重点政策・重点目標について

A、市税を始めとする一般財源の大幅な減収に伴い、非常に厳しい財政状況ですが、長引く景気低迷で不安の大きい市民生活の安全安心を支える施策に積極的に取り組む中で、国の主要施策である子育て及び環境に重点を置きながら、第四次総合振興計画に基づい

た予算編成を行いました。

主な施策として、子育て環境の整備については、中核保育用地の購入及び造成事業、認定こども園建設費補助事業、学童保育室分割整備事業、児童館設計事業などを実施するとともに、子ども手当支給事業を開始することで子育て支援の強化を図ります。

また、予防接種補助事業に新たに女子中学生を対象とする子宮頸がん予防ワクチン接種及び幼児を対象とするインフルエンザ予防ヒブワクチン接種を加え、事業の拡大と従来の健康検診事業、子ども医療費支給事業を継続実施すること、子どもの保健医療の充実を図ります。

さらに引き続き、学校校舎

体育館の耐震改修設計業務を実施し、学校施設の安全確保を図るとともに、放課後子ども教室の増設や新たに小学校補修事業を実施するなど、子どもの教育環境の向上にも努めます。

環境政策としては、地球温暖化防止対策に基づく持続可能エネルギーの利用促進と市民啓発を図る電気自動車カーシェアリング事業及び住宅用太陽光発電システム設置補助事業を実施します。

また、市民の憩いの場として保全整備を進めている中央緑地整備事業に、新たに二酸化炭素吸収源緑地としての位置付けを加えています。

これらの国の政策に沿った事業の取組みに加え、庁舎基本設計業務事業、西口駅前広場改修事業、公園整備事業、アートによるまちづくりを展開し市の活性化を図るアートと地域の交流拠点事業、(仮称)大地の芸術祭事業などを実施することで、さらに魅力的で安心安全なまちづくりを目指し、市の将来都市像、緑に囲まれた健康な文化都市の実現に努めます。

記名投票の結果

(議席順)

「議案第1号」平成22年度北本市一般会計予算

「賛成者」10名

串田英夫、桂 祐司、岸 昭二、島野和夫、福島忠夫、黒澤健一、阪井栄見子、加藤勝明、横山 功、伊藤堅治

「反対者」9名

中村洋子、湯澤清訓、中山敬弘、現王園孝昭、工藤日出夫、金子眞理子、吉住武雄、三宮幸雄、大澤芳秋

議会構成に一部変更がありましたのでお知らせします。

(平成22年3月19日現在)

議長	副議長				
加藤勝明	中山敬弘				
議会運営委員会					
吉住武雄	福島忠夫	湯澤清訓	桂 祐司	岸 昭二	金子眞理子
庁舎建設特別委員会					
島野和夫	黒澤健一	湯澤清訓	桂 祐司	阪井栄見子	加藤勝明
横山 功	伊藤堅治	吉住武雄	三宮幸雄	大澤芳秋	

は委員長、は副委員長、以下議席順。は新たに就任した議員です。

【紹介】

今定例会において同意されました副市長を紹介します。

住所 東京都西東京市中町2丁目3番18号

氏名 下田 正幸氏

市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ質問事項を

通告し、執行部の答弁を求めます。

今定例会では、16人の議員から67件118項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

消費者被害防止 サポーター制度

問1 消費者被害の取組みについて

答1 市では、公的資格を持った消費生活相談員が、市役所で相談に応じていますが、平成21年度より、相談窓口の強化を図るため、

相談日を毎週月曜日と木曜日の週2回に拡大するなど相談体制の充実を図ってきました。また、昨年11月から本年2月にかけて、身近な相続のトラブル、暮らしに生かす金融知識、高齢者の悪質商法・契約トラブルをテーマにしたセミナーを開催し、消費者行政の推進に努めたところです。

問2 制度の活用についてはどうしていくのか

答2 消費者被害防止サポーターとは、高齢者などを狙った悪質商法等の未然防止を図るため、地域での啓発活動を担うボランティアのことで、今後ボランティア育成のため、市の広報紙やホームページ等で広く公募し、県の消費者被害防止サポーター養成講座に参加していただくよう働きかけてまいります。

新しい 公民館運営

問1 社会教育法で制限されている公民館活動と市民活動としてのコミュニティ活動をどのように融合・使分けしていくのか

答1 公民館の指定管理者の導入は、教育委員会とし

て継続的に検討しています。が、導入に際しては、地域との連携が必要不可欠と考えており、有識者の意見を伺い、また公民館運営審議会や社会教育委員の会議で議論をいただきながら、関係部局とも連携を図り、早ければ平成23年、遅くとも24年には指定管理者制度の導入を図っていききたいと考えています。

問2 コミュニティのNP
0化についてはどうか

答2 コミュニティ委員会は、法人格を持たない任意団体として活動しており、不動産の取得や銀行借入などの契約行為が出来ません。教育委員会では公民館に指定管理者制度の導入を検討していますので、その運営が受け入れられるようコミュニティ委員会の法人化にむけて組織体制の整備の指導を行っていきます。

3月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

吉住武雄（緑風政策）

- ・ 地域防災対策
- ・ 指定管理者に対する評価
- ・ 医療費削減策

他3件

横山 功（平成会）

- ・ 駅西口広場整備事業
- ・ 考戸地区のまちづくり
- ・ 私道、行き止まり市道の整備

他2件

伊藤堅治（平成会）

- ・ 圏央道桶川北本インターチェンジ開通に伴う交通安全対策
- ・ 西中央通線整備の促進
- ・ 図書館の窓口業務委託

他1件

加藤勝明（平成会）

- ・ グリコ東京工場の進出にあたって、より強固な協力的体制を構築するために
- ・ 消防行政
- ・ 売れっ子とまちゃんのマスコットを作ってはどうか

他2件

通学路の安全対策

問1 西小学校北側の交差点から、西中央通り線の交差点までの約40メートルは歩道が無く、改善が求められているが

答1 隣接する都市下水道の上部空間を有効活用する

ことで、歩道整備の検討を進めてきました。

整備には多くの費用が伴いますので、市単独では難しく、埼玉県の補助金について昨年7月より協議を重ねてきました。

そこで、水路上空にコンクリート製品による張り出し型の歩道を設置する方向となりました。

この歩道整備事業は条件を整えることにより、道路

改良事業として県の補助金制度「ふるさと創造資金」に該当することができました。

答2 スケジュールにつきましては、7月以降に工事発注が可能となり、請負業者の決定が8月、材料の手配などに2か月ほどが必要で、10月に着工となり、完成は平成23年2月を予定しています。



歩道整備が予定されている西小学校北側道路(市道6411号線)

ジェネリック医薬品の推奨

問1 本人負担と医療費の削減について

答1 ジェネリック(後発)医薬品の価格は先発医薬品の2割から7割程度と言われており、希望する患者の負担は軽減になります。

また医療保険財政の改善に資するものと考えられますが、欧米に比べ普及が遅れており、昨年9月時点で数量シェアは20・2%です。

厚生労働省は、医療費削減のため2012年までに数量シェア30%以上を目標に普及策を推進しているところです。

問2 ジェネリック医薬品希望カードの配布について
答2 昨年10月の広報「き

たもと」に希望カードに関する記事を掲載し、保険年金課窓口に1,000枚用意しました。電話での問い合わせや窓口に来られた方もあり配布物「使ってみませんか、ジェネリック医薬品」は窓口で400枚程度配布しました。後期高齢者医療連合は県医師会と協議の上、医療費通知に同封することです。

問3 今後の普及促進につ

いて

答3 地区医師会、薬剤師会の意見も参考にして、国保の被保険者には希望カードの配布も含め取り組んでいきます。



- 大澤芳秋(緑風政策)
 - ホームセンター(カインズホーム)の移転
 - 北本・桶川間新駅設置
 - 駅西口前広場改修事業
- 他1件

- 中村洋子(共産党)
 - 駅東口に案内板の設置をもとめて
 - 駅西口広場改修
 - 在宅介護の課題
- 他3件

- 三宮幸雄(緑風政策)
- 西口駅前広場の改修計画
- 圏央道インターチェンジ開設に伴う経済効果
- 総合公園野球場防球ネットの設置

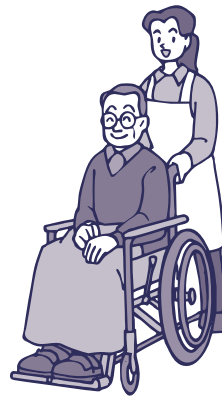
- 串田英夫(市民福祉)
 - 市立西小学校通学路の歩道整備と安全対策
 - グリコと北本ブランド
 - 「埼玉にコウノトリ、トキ」という夢を現実に。未来の子どもたちへプレゼント
- 他2件

- 福島忠夫(平成会)
- 高齢化対策
- 国民健康保険特別会計
- 児童の保護者が安心して働くためには

介護施設 待機者

問1 本市の現状について
答1 3月1日現在の入所状況は、介護福祉施設、特別養護老人ホームは3施設あり、シヨートステイを含む合計定員236人で入所者も236人です。待機者

は、市内在住者120人、市外在住者72人との合計192人となっています。介護老人保健施設は2施設あり合計定員197人で入所者は170人です。待機者は1施設のみで市内在住者3人、市外在住者4人の7人となっています。地域密着型認知症対応型施設(グループホーム)は3施設ありシヨートステイを含む合計定員72人で入所



者は65人です。待機者は1施設のみで3人となっています。いずれの施設の待機者数も複数の施設に申し込むなどしており必ずしも実人数ではありませんが入所待機者がいる状況です。

問2 対策について
答2 平成21年3月策定の埼玉県高齢者支援計画では、施設整備を推進していくこととしており、待機者の減少に一定の効果があると考えます。市直営は難しいことから、介護保険施設の申請が埼玉県にあつた際は所在地の市町村の意見書提出を求められますので、待機状況を踏まえた意見を提出したいと考えています。

デマンドバス 運行

北本市では、自宅から目的地まで、利用者の要求に応じたサービスができるデマンド方式のバスを昨年の10月から12月までテスト運行を行いました。



では、2,919人の方に利用していただき、利用者登録については、全市的に登録をいただいています。路線型のコミュニティバスでは限界のある交通空白地の解消にも寄与できるものと期待しています。

路線型バスは現在、鴻巣市のバスが2路線北本市に乗り入れしており、4月からは吉見町のバスも高尾さくら公園、総合福祉センターを経由して北本駅西口に乗り入れる予定です。平成22年度は、テスト運行の結果を踏まえ、1年間の実証運行を行う予定です。利用者の少ない日曜祝日は運行車両を減らし、タクシー導入の可能性なども検討



したいと考えています。

- 湯澤清訓(共産党) 「金融環境」が厳しい状況のなか、北本独自の融資制度創設を求めて
- デマンドバスの試行運転は、コミュニティバスの位置づけをどう変えたか
- 公園について 他3件
- 島野和夫(公明党) 公共工事の総合評価方式導入
- 住宅用火災警報器の普及
- 介護総点検を踏まえて 他1件
- 阪井栄見子(公明党) 北本駅西口駅前広場改修計画
- 授乳やおむつ交換ができる「赤ちゃんの駅」の設置
- 児童館の建設 他1件
- 金子眞理子(緑風政策) 非常勤・臨時職員の継続雇用
- 消費者被害防止サポーター制度
- 北本駅西口駅前広場改修計画
- 工藤日出夫(緑風政策) 区長と自治会長、自治会と地方公共団体(北本市)との関係、位置づけ
- 駅西口広場改修工事計画

西口駅前広場 改修計画

西口駅前広場は、供用から30年が経過し、施設の老朽化と広場内の交通混雑の緩和や歩行者などの安全の確保、高齢社会に備えたバリアフリー化が課題となっていました。

基本計画の策定については、検討会や地元説明会で頂いたご意見、ご要望、議会の北本駅西口広場整備に関する決議の趣旨を踏まえ、策定してまいりました。

将来の駅周辺の活性化を見定めたなかでは、まちづくりの視点も重要です。ロータリー内の緑地は北本市の象徴である緑を活かし、西口広場のイメージアップを図ります。また、ロータ

リー南側の多目的広場は、高齢者やお子様連れのお母さん達が、買い物や散歩の途中での休憩場所となったり、憩いや交流の空間として、にぎわいづくりの場にしたいと考えています。

総事業費については6億3,675万円を見込んでいます。その財源として、国庫補助金のまちづくり交付金2億7,664万円、起債額は2億7,790万

円、一般財源は8,220万円です。

駐車場については、広場内に停車スペースを設けることで廃止させていただきませんが、広場周辺の民間の駐車場を借り受けての整備の可能性について、土地利用状況や土地所有者などの意向を調査し、検討していきたいと考えています。

個別所得 補償制度

問1 米の生産農家にとって一大転換となる、この制度について

答1 平成22年度では、翌年度からの制度実施に向け、事業の効果や円滑な事業運営を検証するため、戸別所

得補償モデル対策が実施されます。このモデル対策は、水田利活用自給力向上事業と、米個別所得補償モデル事業の二つの事業がセットで実施されます。

水田利活用自給力向上事業は、自給率の向上を図るため、水田を余す所無く有効利用して、麦、大豆、米粉用米、飼料用米、などの戦略作物の生産を行う販売農家に対して、並みの所得

を確保できる水準の支援を、国からの直接支払いにより実施します。

次に、米個別所得補償モデル事業は、意欲ある農家が、水田農業を継続して環境を整えることを目的としており、恒常的に生産に対する費用が販売価格を上回る米に対して、所得補償を国からの直接支払いにより実施されるものです。

を達成した生産者に対してのメリット措置として実施され、全国一律で10アール当たり15,000円が当年産米販売価格にかかわらず定額として交付されるものです。また、当年産の販売価格が過去3年平均価格を下回った場合には、その差額も補填されます。

この事業は生産数量目標

3月定例会 総括質疑

質疑通告順に掲載

- 中村洋子(共産党)
- 黒澤健一(平成会)
- 桂 祐司(市民福祉)
- 岸 昭二(公明党)
- 現王園孝昭(緑風政策)

- 黒澤健一(平成会)
- 合併問題について市長見解を求める
- 新しい公民館運営のあり方
- デマンドバス運営計画
- 中山敬弘(緑風政策)
- 美しく老いるための「カキクケコ(介護・救護・訓練・健康・交流)」
- 金のなる木としての仮称みなみ北本駅の早期実現
- 北本駅西口広場改修事業
- 他1件

次回の定例会は、
6月3日(木)

開会の予定です。



総務文教

Q. 放課後子ども教室の検証と増設について
 A. 放課後子ども教室については、現在、西小学校と南小学校に開設しています。西小学校については、今年3年目になりますが、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を行っています。地域のたくさんの応援団の方にサポートをいただきながら、充実した子ども教室が展開されています。

西小学校の実績に基づき、平成20年度から南小学校にも開設をしました。南小学校も地域コーディネーターの方を中心に、充実した取り組みが行われています。

放課後子ども教室については、やみくもに全校に広げようという考えはありませんが、今までの両校の実績を踏まえて1校増設を考えています。

現在東小学校に展開すべく準備を進めています。放課後の子どもたちの居場所を支援する事業ですので、子どもたちが安全で安心して過ごせる活動拠点を確保し、地域の方々の協力をいただきながら進めていきます。

保健福祉

Q. 地域支え合い事業補助金について
 A. 地域支え合い事業は、近年、高齢者の単身世帯、夫婦世帯が増加し、買い物や家事などの日常生活が困難な高齢者が増加してきている状況の中で、県が平成21年度から3年間で、県内30か所程度の立ち上げを計画しているものです。高齢者の日常生活の安心確保や、買い物、家事等について、元気な高齢者がボランティアとして活動することによって、元気な方の介護予防になります。また、ボランティアへの報酬を地域商品券とすることによって、地域の商店で買い物をしていただくようになり、地域の商店の活性化にもつながります。市では社会福祉協議会や商工会と打ち合わせを進めてきています。基本的には事務局機能は社会福祉協議会が担い、地域商品券の関係では商工会にも協力をいただき、事業を開始しようと考えています。



建設経済

Q. 農業ふれあいセンター使用料予算が前年より18万円ほど増額となっているが、積算内訳について
 A. 農業ふれあいセンターの増額理由については「桜国屋」については、平成21年度当初予算より年間売り上げを1,200万円増の2億9,400万円と見込み、その1.5%の使用料で、「さんた亭」については、前年度同額の1,800万円と見込みました。他に自動販売機3台の使用料とあわせ、473万6,000円を計上しました。

Q. 街路事業が1,760万円の減額予算となっているがその理由について、補助率の変化があったのか
 A. 街路事業費の減額理由については、駅東口中央通り線の来年度の補助対象は、用地費・物件補償費・及び工事費で、国から100分の55の率で補助を受けています。取得する用地の場所や面積は、建物の規模等が異なるため減額となりますが、補助率は前年度と同じです。

Q. 昨年の12月議会において下原・考戸地区に早期に公共下水道整備計画をという附帯決議が出されたが、その検討状況について

A. 議会において「下原・考戸地区に早期に公共下水道整備計画」をという付帯決議に対する対応は、事業経費のうち基本設計委託料に2,500万円を計上しました。この中で事業認可の拡大を行うための業務委託を見込んでいます。

特別委員会の報告

庁舎建設特別委員会

委員会提出議案として「庁舎建設基本設計にかかる設計と条件の整理を求める決議」を本会議に提出し、挙手多数により可決しました。

議会改革特別委員会

本定例会に提出された北本市議会基本条例の制定について(議提第1号及び議提第2号)が付託され、閉会中の継続審査となりました。

主な提出案件の結果一覧

議 案 名		議決結果	緑風政策フォーラム	平成会	公明党	共産党	市民福祉の会
市長提出議案	平成22年度北本市一般会計予算	可決	×			×	
	平成22年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計予算	可決				×	
	平成22年度北本市国民健康保険特別会計予算	可決				×	
	市長及び副市長の給与等に関する条例及び北本市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について	可決					
	北本市職員の給与に関する条例及び北本市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決					
	北本市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決					
	北本市公民館設置及び管理条例の一部改正について	可決					
	副市長の選任について	同意					
議員・委員会提出議案	UR賃貸住宅(旧公団)への定期借家契約導入を行わないよう求める意見書	可決					
	子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書	可決					
	介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書	可決					
	北本駅西口の中心市街地活性化に関する決議	可決	×			×	
	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書	可決					
庁舎建設基本設計にかかる設計と条件の整理を求める決議	可決	×			×		
請願	「UR賃貸住宅(旧住宅公団)への定期借家契約制度の導入はすべきでない」とする意見書提出に関する請願	採択					
	駅西口広場整備事業の促進を求める請願	採択	無記名投票により不明(賛成10票、反対9票)				
	議会決議に沿った北本駅西口駅前広場改修工事の見直しを求める請願	一部採択	×				
	北本駅西口駅前広場改修計画の見直しを求める請願	一部採択	×			×	

* 上記以外に26件の議案審議がありましたが、いずれも起立及び挙手全員により原案のとおり可決(継続審査となった議案を除く)・承認しています。

は議案に対して賛成の会派
 ×は議案に対して反対の会派
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

継続審査の結果一覧

議 案 名		議決結果	緑風政策フォーラム	平成会	公明党	共産党	市民福祉の会
議員提出議案	北本市議会基本条例の制定について(議提第1号)	継続審査					
	北本市議会基本条例の制定について(議提第2号)	継続審査					

【継続審査とは】
 議会の活動は、原則として会期中に限定されていますが、「継続審査を要する」とされた案件があった場合には、閉会中に委員会が活動することを認めるかどうかについての採決が行われます。採決の結果、継続審査が認められた場合には、付託先委員会は、閉会中に継続審査を行い、その結果、結論が得られた場合には、次期定例会に審査結果を報告します。

は議案の継続審査に対して賛成の会派
 ×は議案の継続審査に対して反対の会派
 は議案の継続審査に対して賛成と反対のあった会派

各会派の議員数 緑風政策【8人】、平成会【5人】、公明党【3人】、共産党【2人】、市民福祉の会【2人】

委員	副委員長	委員	委員長	議会だより編集委員
	金 子 眞理子	黒 澤 健 一	桂 祐 司	

編集後記

景気の厳しい中で、前年度より減収した市税、高齢化や生活擁護、医療・介護等、経常経費の歳出増で厳しい予算編成となりました。予算採決の僅少差は、政治政策としての議員判断や優先順位が、見直されているのかも知れません。

採決後、議長が「一身上の都合」で突然辞職しました。就任後、わずか10か月あまり、議会の慣例に従えば、2年間は職務を果たす立場にありました。突然の辞職は誠に残念なことです。が、予想もしない事柄が起きるのは、政治の世界では「有り」かもしれません。(健)

平成22年度北本市一般会計予算は、賛成10、反対9というきわどいところで可決成立しました。